



次世代という産業基準と現実の固定化

令和 7 年 8 月 25 日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

技術進歩が与える新しい産業基準は、世界経済の順序付けを今日現実において与えるものである。

これらは知的集積産業への転換は、手工業という既存産業から、大きな資本力と高い賃金、への移行を先端産業において与えるものである。

これら企業のプレゼンスは、資本力と開発力において更なる未来の実現を模索するものである。

これら基準と判断は、現実における企業の確立をグローバル経済において標準化し、その現実そのものを与えるものである。

これらは新たな知的進歩性への転換が経済において存在し、新たなエリートたちの知性は、未来の創造を模索するものである。

これらは産業構造や基準の完全な転換が存在し、新たな現実は新たな基準やルールを有するのである。

これら経済環境を大幅な変化は、全ての企業に対して新たな判断を要求するものである。

これらがグローバリズムにおける競争をルールとすることは明確に理解しなくてはならない。

これらグローバルスタンダードは予想に勝りシビアであり、厳しいのである。しかし企業はこれを否定することは今日において不可能である。

これら新たな現実への参加が企業における生き残りの選択であり、それらは企業において不可避の選択なのである。